

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名		食品リサイクル推進事業費		担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度		平成19年度～		担当課室	企画課リサイクル推進室		室長 森下 哲			
会計区分		一般会計		施策名	4-2 循環資源の適正な3R (リデュース・リユース・リサイクル) の推進					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律		関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		食品製造業や食品卸売業においては、食品循環資源の再生利用等の実施率は比較的高いものの、食品小売業や外食産業においては、再生利用等の実施率は比較的低い。そのため、食品流通における小売業・外食産業をはじめとした食品関連事業者の再生利用等の実施率を向上させることを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)		食品循環資源の再生利用等の実施率の向上に資するため、食品小売業・外食産業をはじめとした食品関連事業者や再生利用事業者等を対象として、再生利用事業計画(リサイクルループ)の形成や、再生利用事業者の育成を促進するとともに、食関連事業者等における食品廃棄物等の発生抑制対策に資するための調査を実施する。 また、食品リサイクル法の施行状況を調査し、次回の法検討に向け情報を整理する。								
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		予算 の 状 況	当初予算	30	23	17	15	7		
			補正予算	0	0	0	0			
			繰越し等	0	0	0	0			
			計	30	23	17	15	7		
		執行額	28	23	5					
執行率 (%)	93	100	29							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (24年度)	
		食品リサイクル法における食品関連事業者による食品循環資源の再生利用等の実施率(食品製造業)			成果実績	%	調査中	調査中	調査中	85
					達成度	%				
		食品リサイクル法における食品関連事業者による食品循環資源の再生利用等の実施率(食品卸売業)			成果実績	%	調査中	調査中	調査中	70
					達成度	%				
		食品リサイクル法における食品関連事業者による食品循環資源の再生利用等の実施率(食品小売業)			成果実績	%	調査中	調査中	調査中	45
					達成度	%				
		食品リサイクル法における食品関連事業者による食品循環資源の再生利用等の実施率(外食産業)			成果実績	%	調査中	調査中	調査中	40
					達成度	%				
		活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度
調査件数	活動実績 (当初見込み)			件	4	3	3	— (3)	— (2)	
単位当たり コスト		1.6(百万円/件)		算出根拠	執行額/調査件数					
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由						
	職員旅費	1	1	事業内容等の見直し						
	環境保全調査費	14	7							
計	15	7								

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	引き続き、事業を重点化しつつ、競争性のある契約方式により効率的な実施に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	支出状況を勘案し、予算規模を見直すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行実績を勘案し、業務の効率化により、概算要求額を減額。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

環境省
5百万円

【一般競争入札】

A(株)サティスファクト
リーインターナショナル
2百万円

リサイクルループ形成
促進及び登録再生利用
事業者育成事業

【一般競争入札】

B(株)ダイナックス都
市環境研究所
2百万円

食品廃棄物等の発生
抑制実態調査及び普
及啓発業務

【少額随意契約】

C(株)エックス
都市研究所
1百万円

食品リサイクル法
に係る施行状況調
査

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)(単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)サティスファクトリーインターナショナル			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	リサイクルループ形成促進及び登録 再生利用事業者育成事業	2			
計		2	計		0
B.(株)ダイナックス都市環境研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	食品廃棄物等の発生抑制実態調査 及び普及啓発業務	2			
計		2	計		0
C.(株)エックス都市研究所			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	食品リサイクル法に係る施行状況調査	2			
計		2	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)サティスファクトリーインターナショナル	リサイクルループ形成促進及び登録再生利用事業者育成事業	2	3	43.8%

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ダイナックス都市環境研究所	食品廃棄物等の発生抑制実態調査及び普及啓発業務	2	21	29.9%

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エックス都市研究所	食品リサイクル法に係る施行状況調査	1	随意契約	—